

令和元年度「道德教育改善・充実」総合対策事業における
道德教育実践研究委員会

時: 2019年11月15日(金)
所: 広島県立沼南高等学校

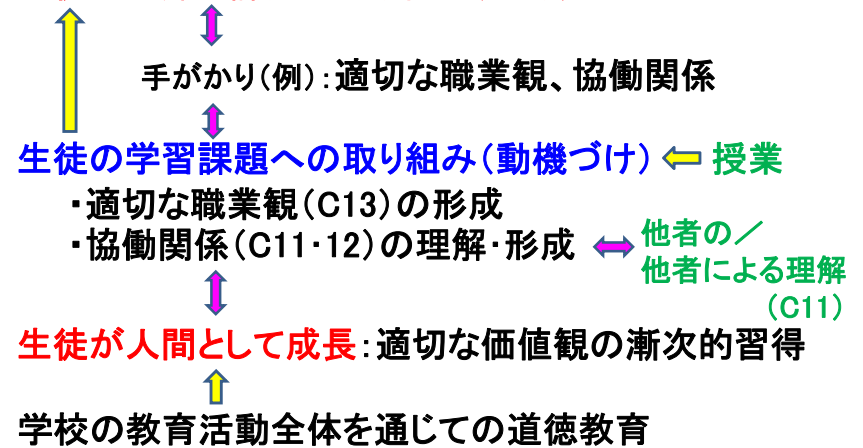
「困難な」課題に取り組むために - 教育活動全体を通じての道德教育 -



くらしき作陽大学 秋山博正

「自分ができないことをどのようにクリアしていくのか。また、そのことをどのようにして周囲に認めてもらうのか(認めるのか)。職業観や仲間づくりをテーマにした授業づくりの方法」。

生徒の困難な課題に取り組み、乗り越える力



1. 「困難な」課題に取り組み、 乗り越えるための手がかり(例)

- 1) 適切な職業観
 - 2) 協働関係
- 両者の習得や形成 = 学習課題

2. 生徒の学習課題への取り組み - 生徒はいかにして動機づけられるか -

- 1) 動機 = 課題に対する評価 + 自信
- 2) 評価と自信の相互作用の類型

- a) 低い評価 / 弱い自信
- b) 低い評価 / 強い自信
- c) 高い評価 / 弱い自信
- d) 高い評価 / 強い自信

【松下佳代編著
『ディープ・アクティブ・ラーニング』pp.69】

2. 生徒の学習課題への取り組み - 生徒はいかにして動機づけられるか -

3) 教師への問い

- ① 生徒が課題の価値を適切に理解するために、どんな支援をしていますか。
- ② 生徒が課題をうまく果たせるという自信をもつために、どんな支援をしていますか。

4) 生徒への指導支援(例)

- ① 課題(適切な職業観の形成等)の価値の理解を促進
→ 価値理解力向上への指導支援
- ② 具体的で容易な課題の提供: やる → やる気

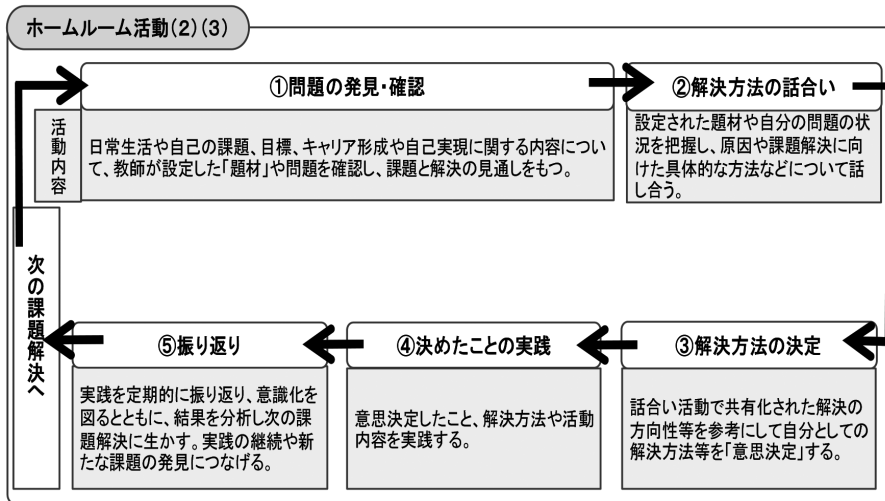
3. 学校の教育活動全体を通じての指導支援

1) 生徒の職業観に改善点がある高校の実践例

- ① 特活、総学、各教科で育成可能な道德性 → 育成へ
- ② 総学と特活で働くことの意義の探求 / 職業観の形成

4. 公開授業への提案 1)授業づくりの方法(例)

ホームルーム活動(2)(3)における学習過程(例)

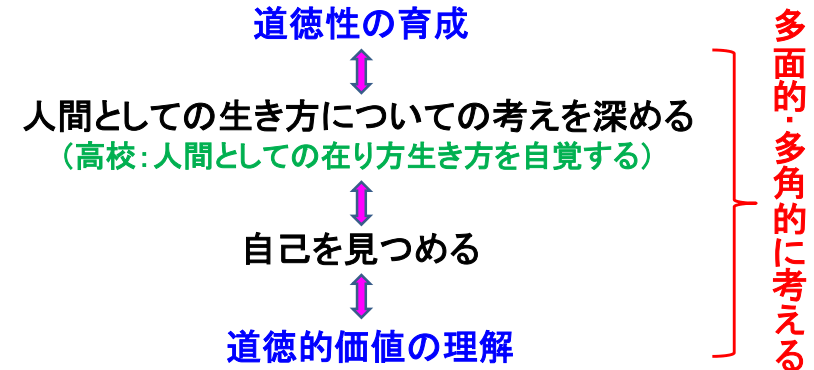


(文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編』2019年、東京書籍、p.40)

4. 公開授業への提案

2) 道徳性(望ましい人間関係)の育成法

「…よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」(『中学校学習指導要領(平成29年告示)』p.154)。



4. 公開授業への提案

3)題材の目標/道徳教育の視点

①「望ましい人間関係」:

C11[公正, 公平, 社会正義]>B7[礼儀]>B6[思いやり, 感謝]
正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること。

②「自主的、実践的態度」: A1[自主、自律、自由と責任]

自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

4) 考え、議論する道徳教育(LHR)へ

①実習内容分類の際、是非の理由

②生徒と教員の視点の違いとその理由

③不安や不満の理由→改善策

④クラスの長所の理由→新たな関係形成上、有益

⑤振り返り: 本時の気づきの確認

5. まとめ

1)ローマは1日にして成らず: 凡事徹底、基本動作

2) 一期一会

3) 生徒と教員との対称性・相関性